

ご使用に際して、この説明文書を必ず読んで下さい。
また必要な時に読めるよう本剤とともに保存して下さい。

⚠ かぜ薬の使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと

(眠気があらわれることがある。)



4. 服用時は飲酒しないこと

5. 過量服用・長期連用しないこと

6. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用

する場合は授乳を避けること(ジヒドロコデインリン酸塩を含有するもの)



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (3) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。(エテンザミドを含有するもの)
- (4) 高齢者
- (5) 本人又は家族がアレルギー体質の人
- (6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (7) 次の症状のある人
高熱、排尿困難
- (8) 次の診断を受けた人

甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、
肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障



2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

(1)服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振	そ の 他	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステイブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
間質性肺炎	空せき(たんを伴わないせき)を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。 (これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること。)
ぜんそく	

(2)5～6回服用しても症状がよくならない場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること

便秘(ジヒドロコデインリン酸塩を含有するもの)、口のかわき

【用法及び用量に関する注意】

(2.3.については7歳以上の用法がある場合)

1.用法及び用量を厳守すること

2.小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること

3.7歳未満の乳幼児には、服用させないこと

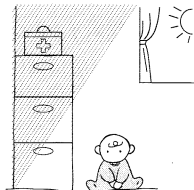
【保管及び取扱い上の注意】

1.直射日光の当たらない湿気の少ない 涼しい所に保管すること

2.小児の手の届かない所に保管すること

3.他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)

4.配置期限の過ぎた製品は服用しないこと



製造販売元 寧薬化学工業株式会社

奈良県大和高田市旭南町2-25

電話 0745-22-4 1 5 1

BR3718100622